

今冬の節電目標等について

関西広域連合においては、10月27日に開催した関西広域連合エネルギー検討会において、関西電力管内における今冬の電力の需給見通しについて検討を行い、当面10%程度の節電をめざす方向とした。

また、政府に対し、節電要請については、関西広域連合及び関西電力㈱と整合をとれたものとする、産業活動等にできる限り支障が生じないように十分配慮すること、関西において決して停電という事態に至ることのないよう、電力余裕のある他の電力事業者から関西電力に緊急時に追加的な電力融通がなされるよう、国内における一層の調整を行うことについて、意見を申し述べたところである。

本日、国において「エネルギー・環境会議」が開催され、政府の節電目標等が示されたが、関西広域連合の意見にも配慮されたものと考えている。

このため、これまでの、国や関西電力㈱との調整の経緯も鑑み、関西広域連合としても、これを今冬の節電目標とすることとする。

また、今後、関西広域連合、近畿経済産業局及び関西電力で協議し、今冬の具体的な節電の取組みや府県民・事業者の皆様へのお知らせの方法などをきめ細かくご提示させていただき、可能な範囲で節電対策に取り組んでいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

■ 関西広域連合が今冬、関西電力管内の府県民、事業者をお願いする節電目標等

1. 節電目標

大口需要家 10%以上

小口需要家 10%以上

家庭 10%以上

2. 節電の期間及び時間帯

12月19日（月）～3月23日（金）の平日

（12月29、30日、1月3、4日を除く）

9時～21時

3. その他留意事項

(1) 産業活動や、病院、鉄道などライフライン機能、都市機能等の維持に支障が出る場合等については、自主的な目標を設定し、節電を行うことをお願いします。

(2) 家庭、業務、産業別に節電メニューをわかりやすく情報提供させていただき、今後きめ細かな対応を進めていきます。

(3) 今夏と同様、電力需給逼迫時にはエアコンの停止をお願いするなど、関西電力の「でんき予報」と連携した追加的な緊急対応措置をとります。

平成23年11月1日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
副委員	大阪府副知事	小河保之
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門